

みんなあでつながる！ひろげる！地域のチカラ

# プラットホーム

高知県社会福祉協議会広報誌

知ってて安心！

## 権利擁護の知識

大切な人の生活・財産を守ります。



2023  
8月号

vol.7

### contents

ボランティア・NPO情報 てをつなGO！ —— 6  
地域の誰もが、地域の主役となるために

シニアのちょっといい話 —— 8  
旭木村民謡 | さくらが丘仲良し会

プラットこうち人 尾崎昭仁さん —— 10

高知県社協からのお知らせ —— 11

市町村社会福祉協議会ご紹介 —— 12  
土佐町社会福祉協議会



# ご近所のハルさんが 詐欺の被害に!



近所に暮らすお年寄りのハルさんの家にかわがわる業者が入りこんでは、怪しげな商品売りつけています。つい心配になって家まで様子を見に行くと、やたらと高級そうな布団や化粧品をはじめ、ハルさんが絶対に使わないであろう品物がずらり。腐ってしまった無添加の野菜や健康食品もあったりと詐欺に巻き込まれているようです。

大丈夫?

一度、詐欺に巻き込まれるとリストが出回るの!?

ハルさん

# 親亡き後に... 障害のある ナツオ君はどうしたら?

知的障害を持つナツオくんがいる家庭。子どもの日々の生活のことやお金の管理は両親が行っているのですが、将来親が亡くなってしまった後、ナツオ君はどうやって暮らしていけばいいのか、今から心配でなりません。障害があり、できないことも多いけど、ナツオ君は今の家でこれからも暮らしていきたいと思っています。親亡き後も、ナツオ君の思いに沿った生活支援や財産管理支援を受けながら安心して暮らしてあげることが、親の願いです。

今から心配



ナツオ君家族

子どもの立場で考えてくれて財産管理を任せられる人はいるの?

# 息子の太郎が お金にだらしなく、 暴力まで...

多額の借金を抱える無職の息子。親の銀行口座から勝手にお金をおろして借金の返済にあてたり、親の年金が支給されるとすぐに引き出してギャンブルに使ってすっからかんにしたりと大変です。また、「ちゃんと働きなさい!」などと小言を言うと、途端に親に向かって暴言をはいたり、叩いてきたり蹴ってきたりと暴力をふるいだし、とてもではないですが手に負えません。

助けん!



アキモリさん家族

どうしてもギャンブルがやめられず、借金も! どうしたらいいの?

息子のことは親の責任? これはもしかして虐待なの?

# 家庭や地域で こんな 「困った」 ないですか?

誰かに侵されたりすることは、誰にでも起こりえます。今回は、こうした権利の侵害がどのように起きているのか、そしてその権利を護っていくための「権利擁護」をいかに進めていくかを考えていきます。



困った!

自分の日々の暮らし方やライフイベント、そのための契約や財産管理といったことは、誰しもが自分で決める《権利》があります。しかし、たとえば認知症や障害などがあることで、そうしたことを判断する能力が低下したり、

# おひとり様だけど、 この先不安も ちょっとあります...

今まで毎日テキパキと仕事をし、おひとり様ライフをエンジョイしてきたフユミさん。ただ、この先もし認知症になったら... 病気になったら... 生活のことや、入院のことはどうしたらいいのだろう? 葬式やお墓、家の事など 私が死んだ後の事はどうなるんだろう...? 考え出したらいろいろ不安が募ってきました。



5ちゃん5ちゃん...

フユミさん

人に迷惑はかけないように、できる事はやっておきたい

# ご近所のナツコさん、 認知症が 進んできたんじゃ!?

通帳や財布をしょっちゅうなくしたり、届いている請求書の内容がわからずたびたび電気やガスを止められているナツコさん。年金も受給しているはずなのに、「お金がない」と言っては近所の人の家にまでお金を借りに来たりして困っています。最近では、家の周りにもゴミがたまりはじめていて大変です。



心配だけど、赤の他人のことだし、一体どこに相談したら?

# 私のことなのに、 私抜きで決まる のが辛い...

アキラさんが暮らしている家は、数年前に亡くなった奥さんと築きあげた大切な家。アキラさんは思い出がたくさんつまったこの家でずっと暮らしたいと思っていますが、最近、物忘れが激しくなってきたり、家の中でも転びやすくなってしまいました。遠くに暮らす子どもたちは「一人で暮らすのはムリ。施設に入った方が安心して暮らせるよ」とグループホームへの入所を強引にすすめてきますが、どうしたらいいのでしょうか?

なんで?



アキラさん

なぜ誰も私の思いを聞いてくれないのか...



# みんなであげ支える！ 制度でまもる！

権利擁護支援が必要な人を、地域で支えるために・・・  
 支援が必要なご本人を中心に行政・福祉・医療・司法等の支援者が  
 強力なタッグを組むのが、「権利擁護支援チーム」。

これらのチームづくりをコーディネートしたり、  
 地域の関係団体の連携を進める「中核機関」の設置も  
 市町村単位で進められており、  
 権利擁護支援が必要とされる人の相談窓口となります。

困ったことがあれば、まずは中核機関などへご相談ください。

高知県社会福祉協議会内にも相談窓口があります。  
 必要に応じて、お住いの相談窓口(中核機関等)におつなぎします。

権利擁護センター 電話088-850-7770  
 高齢者総合相談 電話088-875-0110

## 本人の意向を 尊重する支援

### 〈意思決定支援〉

たとえ本人の判断能力が著しく低下したとしても、  
 日々の生活に関わることから  
 住み替えや福祉サービスの選択などの重要な場面まで  
 本人が納得いく選択のできる情報を提供したり、  
 本人の暮らしぶりなどから本人が望む意向を検討し、  
 その人らしさを重視した支援方針を決定していく  
 〈意思決定支援〉が求められています。

【該当する人】



## もしも虐待を 受けていたら・・・

### 虐待されたら、見たら、 迷わず市町村に相談・通報を!!

高齢者や障害者への虐待は《身体的虐待》のほか  
 暴言や脅しなどの《心理的虐待》、  
 預貯金を勝手に使う《経済的虐待》、  
 《ネグレクト(放棄・放任)》や《性的虐待》などがあります。

アキモリさん親子のケースでは、  
 市町村が中心となり両親の安全の確保や支援を検討しつつ  
 養護者でもある息子への就労や依存症への支援、  
 債務整理などの生活再建に向けた支援も行う場合があります。

【該当する人】



権利擁護  
支援  
チーム

中核機関  
障害者や高齢者の  
権利擁護の  
総合相談窓口

家族  
親族



社会福祉  
協議会  
生活の困りごとに  
対応する  
身近な相談支援機関

後見人

法的に選ばれる、  
要支援者本人の  
権利を護る援助者  
※弁護士や司法書士、社会福祉士、  
行政書士、税理士などの専門職のほか、  
親族や法人、市民後見人などが  
要支援者の状況に応じて選任されます。

地域

福祉・医療

介護や  
福祉サービス、  
医療面などから  
暮らしをサポート

「将来」に備えるために  
いつかくる

### 〈任意後見制度〉

近い将来に判断能力が不十分になることを想定し、  
あらかじめ後見人になってもらう人を決めておく制度です。  
親族や専門職の他、信頼できる任意の人と契約できます。  
判断能力の低下に伴い、支援がスタートします。

### 〈死後事務委任契約〉

「葬儀や墓をどうするか」  
 「医療費や公共料金などの未払金の精算」  
 「各種手続きやSNSアカウントの削除」などの  
 きめごとや手続きを生前に決めておき、  
 第三者にその事務等をあらかじめ委任しておくものです。

### 〈遺言の作成〉

死後の財産や預貯金等の相続や、  
その処分について自分の意思を遺す「遺言」。  
記載方法は法律で定められており、  
記載要件等が守られていない遺言は無効になります。  
公証人が作成する公正証書遺言は偽造のおそれがありません。  
また、自筆証書遺言を法務局が保管できる制度もあります。

【該当する人】



判断能力が低下し、  
生活に支障がある・・・

### 〈日常生活自立支援事業〉

福祉サービスの利用契約支援や  
 お金の出し入れ、通帳等の書類管理のお手伝いなど、  
 認知症や知的障害、精神障害等により  
 判断能力が不十分な方の日常生活をサポートします。  
 各市町村の社会福祉協議会で行っています。



### 〈法定後見制度〉

認知症や知的障害・精神障害等のために  
 重要な手続き、契約、財産管理などを  
 ひとりで決めることに心配がある人を護る制度です。  
 本人や家族などからの申し立てを受けて  
 家庭裁判所が成年後見人や保佐人、補助人などを選任し、  
 財産管理や身上保護を行います。

【該当する人】







# 地域の誰もが、地域の主役となるために

子どもや高齢者、障害者、外国人など、生活のしづらさを抱えている人たちに寄り添い、地域で顔の見える関係を築き、ほっとしても見える居場所を作ろうと様々な取り組みを行っている《特定非営利活動法人ぐりーと》。室戸市からあった組を元にした。室戸市からあった組を元にした。室戸市からあった組を元にした。

スポーツを通じたまちづくり

特定非営利活動法人  
まほろばクラブ南国  
高知県南国市前浜1344-3 (088・865・8015)

「笑顔あふれる生涯スポーツ」「感性豊かな子どもの体力づくり」「健康づくり・仲間づくり・まちづくり」という3つを団体が目指す理念として掲げ、青少年の健全育成と地域住民の健全な心身の育成を行い、活力あるまちづくりに貢献されている《特定非営利活動法人まほろばクラブ南国》。南国市立スポーツセンターを拠点としながら、地域コミュニティの活性化のために総合型地域スポーツクラブの特色を活かした様々な事業やイベントを地元の小学校や交流センターで開催しています。

## 総合型地域スポーツクラブとして

総合型地域スポーツクラブの定義は、「多目的・多世代型・自主運営型」という3つが挙げられます。《まほろばクラブ南国》では、地域住民がスポーツクラブを利用したいと思う目的や考えは千差万別のため、それらの要望を最大限受け入れられる体制を整える上でも、総合型地域スポーツクラブという環境は必須であるとし、利用者どうしの話し合いなどを通じて、個人がしたいと思うスポーツを体験教室へと展開で

けるプラットフォームを構築しています。そのため、現在では2歳から90歳までの幅広い年代の方々に対象に、「子どもサークル」から「美ボディエクササイズ」「いきいき百歳体操」などの、地域住民の誰もが参加できるプログラムが実践されています。

理事長である武市さんは、団体運営を行っている中で大切にしているのは「競争回避」だと言います。それは、どのような生活環境の方でも加入しやすい価格とプログラムを提供し、地域にこれまでなかったスポーツクラブの方向性を日々示していくという武市さんの決意にも感じます。

## スポーツを通して繋がり、地域の魅力を伝えたい

新型コロナウイルス感染症5類移行などに伴い、「アフターコロナ」への機運が高まっている現在《まほろばクラブ南国》が新しく取り組もうとしているプログラムは、「ウォーキングサッカー」です。ウォーキングサッカーは通常のサッカーほど激しいものではないため、参加者どうしで和気あいあいとプレイすることができ、できる人ができる



特定非営利活動法人  
ぐりーと  
高知県室戸市元甲1902番地1 (0887・23・1551)

挨拶や声掛けのある共生社会へ

## 居心地の良い地域を目指して

「一人暮らしでも一人じゃない、孤独を感じない地域をつくらたい」と山本さんは言います。そのためにも日々の活動の中で繋がりがつくりを欠かしません。みんなりづくりに出かけた時、誕生日会を開いたり、同じ時間を過ごすことで自然と打ち解け、お互いを思う意識が地域で芽生えています。

## 多文化共生社会への思い

昨年度から新たに「多文化共生事業」にも取り組んでいます。きっかけは、隣に住む外国人技能実習生の存在でした。地域の人たちとの交流がない彼らのために何かで





# 旭木村民踊

高知市

和気あいあいと踊り続ける

## 人生の知恵を活かす

旭木村民踊は、長い歴史があり昭和63年頃より旭木村会館を拠点に活動している高知市の団体である。会員は33名おり、平均年齢は78歳。シニアであることを感じさせないほど、いきいきと若々しい会員が民踊の活動をしている。病院、老人ホーム、地域イベント等から「踊ってほしい」という声があがれば、積極的に出向き民踊を披露している。なお、いつでも披露ができるように月2回の練習に会員全員で励んでいる。

高知市の福祉施設で民踊を披露しており高知県知事からも感謝状授与、生涯スポーツ推進県民会議会長からも旭木村民踊の活動を称え表彰状を授与し、様々な功績がある。また、会長を務める小林氏は令和4年度第9回(※)高知の輝くシニア大賞の地域貢献部門特別賞にも輝いている。

月2回の練習を継続することで会員自身のレベルアップにもなり、それが健康づくりとやりがいにつながっている。そして、今まで練習してきた民踊を福祉施設や地域イベントで披露するときには、達成感、喜びや楽しさ、さらには生きがいにもなっている。なお、民踊披露で使う衣装、小道具は会員の物を持ち寄り仕立てることもあるそうで、人生で蓄積された知恵や知識が存分に活かされている。披露することで見る人々の元気や楽しさにもなっており、踊る会員もそれを見る人々にも良い効果をもたらしている。

## コロナ5類化でふたたび活動本格化

「何年も民踊をしうけど体を動かすのはやっぱり楽しいし、和気あいあいとしゅう団体やきみなんと会って会話をするのも楽しい」「ベテランさんの踊りゆう姿を見ながら勉強もできる」と会員は笑顔で話してくれた。旭木村民踊の活動も楽しいし、活動を通じてできる人間関係も心地よいのだ。

新型コロナウイルス感染症の影響により、福祉施設や地域のイベント、敬老会での披露も3年間控えていたが、新型コロナウイルス感染症も第5類に移行し、今年からはまたたくさんの方々に民踊を披露できる!と会員全員が楽しみに、活動意欲も高まっている。今後も民踊を通じ地域を元気にするため活動する旭木村民踊の活躍がさらに楽しみである。



旭木村民踊と姉妹サークルのあやめ、つわぶきの会員



山形県で有名な花笠音頭を踊るときに使用する花笠

## 世代を超えてみんなの居場所に

さくらが丘仲良し会は、宿毛市のさくらが丘集会所を拠点とし、平成30年から活動を始めた。結成の発端は、集会所で行っていた百歳体操の後、体操だけで帰るのは寂しいとの声があったことから、「さくらが丘仲良し会」を結成することとなった。

さくらが丘仲良し会の総則は、「皆が健康で明るく楽しく暮らすために助け合える仲間であること」、理念は「健康第一で輪と和を大切に」とし、会員皆で意見を出し合いつづいた。所属している会員は、ほとんどさくらが丘地区の住民で構成されており、20人程度で活動している。

週2回はさくらが丘集会所に集まり、百歳体操や輪投げ、卓球を行っている。それ以外にも勉強会やお茶会、季節の催しとして春にはお花見、夏は地域の子もたちと一緒に七夕飾り、冬には忘年会などを毎月1回行っている。七夕飾りでは元保育士や元教員などの会員が講師となり、子どもたちに教えながら一緒に飾りつけを行い、参加した子どもたちからは「楽しかった」との声が聞かれた。このような七夕飾りの催しは世代間交流の場であり、子どもたちの居場所にもつながっているのだ。

会長を務める高橋氏は令和4年度第9回(※)高知の輝くシニア大賞のキラリ賞に輝き、百歳体操には皆勤で参加している。また、会員の1人である深谷氏は「地域住民である会員も積極的に活動に参加をするようになったことで、会話をする機会が増え、参加者自身が明るくなり体力維持にもなっている」と話す。

こうした活動を通じて、地域のつながりができ、現在では会員間に強い仲間意識があるという。普段参加している会員が欠席をしていたら、「あの人はどうしたかね」と仲間を気にかける心遣いがメンバー間で芽生え

# さくらが丘仲良し会

宿毛市

地域のつながり、笑顔でひとときわ強く



(上)百歳体操の様子 (下)地区内公園でお花見

たり、日常生活だけでは関わりのなかった地域住民とも活動を通して出会い笑顔で会話をするようになってきた。

さくらが丘集会所を拠点とした活動で、地域住民同士のつながりが強くなっていることも感じられる。会員は「さくらが丘仲良し会の活動は楽しいです。最高です」と笑顔で話してくれた。今後も会員を増やしながらか地域のつながりづくりをより強く、地域を盛り上げていくため、さくらが丘仲良し会の活動は継続していく。

※高知の輝くシニア大賞とは、地域のためにボランティアな活動をするシニア、スポーツや文化等において素晴らしい活躍を見せるシニアなど、その活動を生きがいとし、いきいきと輝いているシニアを表彰し、広く紹介することで、生きがい・健康づくりの啓発とシニア活動の充実発展を図ることを目的として高知県社会福祉協議会が主催で行っている。



シニア世代の皆さんが生きがいのあるセカンドライフを送るための参考となるような、県内でいきいきと地域活動をされている皆さんをご紹介します。





## 第10回高知の輝くシニア大賞 及びシニア川柳の募集を開始します!



高齢化が進む本県では、平成26年度よりシニアの生きがい・健康づくりについて啓発することを目的に、「高知の輝くシニア大賞」として、ボランティアやスポーツ・文化面で活躍される概ね65歳以上のシニアを表彰してきました。

また、シニア大賞を広く知っていただくためのプロモーション企画として「シニア川柳」の募集も併せて行っております。高知の輝くシニア大賞は、地域づくりを積極的に行う方に贈る地域貢献部門と、スポーツや文化活動などその道を極めた方に贈るスーパーシニア部門の2部門があり、シニア大賞をはじめ、特別賞、いごっそう賞、はちきん賞、キラリ賞、奨励賞を設けており、これまでに130名の方々が受賞しております。シニア川柳は、これまで8歳から101歳までの方、延べ1,034名、2,885作品の応募がありました。今年度の表彰式は、令和6年1月を予定しております。申込様式は、「高知県社会福祉協議会HP」及び「高知いきがいのネット」からダウンロードすることができます。詳細につきましては、本会ホームページをご覧ください。皆様のご応募お待ちしております。

[応募締切] 令和5年10月20日(金)  
[申込・問合せ先]  
高知県社会福祉協議会 いきいきライフ推進課  
TEL : 088-844-9054 FAX : 088-844-9411  
E-mail : ikigai@pippikochi.or.jp



## 高知県社協からのお知らせ

### 見て!体験して!感じて! 「ふくし」を知る1日!!

### ふくしフェア2023 今秋開催!!

子どもから大人まで、みんなの身近にある「ふくし」を体験できるイベントをイオンモール高知で開催します。フェア当日は、「ふくし」に関する様々な体験コーナー、福祉の仕事や介護の相談コーナー、最新の福祉機器などを展示し、進化する「ふくし」業界を発信! 詳細は決まり次第、高知県福祉人材センターのホームページでお知らせします。

[開催日] 令和5年10月22日(日) 10:00 ~ 16:00  
[場所] イオンモール高知  
高知市秦南町1丁目4-8  
[問い合わせ先]  
高知県社会福祉協議会 総合人材センター  
TEL : 088-844-3511  
E-mail : jinzai@pippikochi.or.jp  
HP : https://www.fukushi-jinzai.com/



## 認定特定非営利活動法人 NPO高知市民会議 プロジェクトマネージャー

# 尾崎昭仁さん (31)

### ボランティアやNPO活動を行う個人、団体の支援を担う中間支援組織として、高知市市民活動サポートセンターの管理・運営をはじめとする様々な事業を行っているNPO高知市民会議。多様な取組を行うNPO高知市民会議でプロジェクトマネージャーとして活躍しているのが尾崎昭仁さんだ。

### 市民活動との運命の出会いから...

高知市出身の尾崎さんは、高校時代から「高知県のために何かしたい!」という思いを抱きながらも明確な目標を持っていないまま過ごしていたという。そんな中、高校3年生の時の担任の先生がNPO高知市民会議の役員をしていたことから、「とさつ子タウン」(※1)のボランティア活動への参加を勧められることになる。

活動に関わる中で、実行委員である大学生や社会人との交流が生まれ、「子どもたちのために」という思いで活動している彼らの生き生きとした姿勢に感動を覚え、市民活動に魅力を感じ、興味を持ち始めるきっかけとなった。そこから、漠然としていた市民活動への思いが明確となり、進学をしようという活動に携わっていくことを決意する。

大学時代は、「とさつ子タウン」に実行委員として参加する他にも、商店街でのイベントで企画・運営に関わり、訪れた地域住民の方々と交流を深めた。また、在学中に東日本大震災が発生し、当時インターシップで道の駅の店舗運営に携わっていた際、被災した東北からの観光客の声を多く聞いたことが印象に残っているという。大学卒業後は、被災地を訪問する機会があり、現地のNPOの方々からお話を聞く中で、「地域活動に対する向き合い方を見つめ直す機会を与えてもらった」という。

その後、2012年8月にNPO高知市民会議に入職。

入職してすぐに関わるようになった「とさつ子タウン」の事務局での活動は、大学時代の実行委員としての経験から、仕事とプライベートの垣根を感じなかったと話す。

現在では、「とさつ子タウン」に加えて、「こうちこどもファンド」(※2)に委員として関わるほか、ホームページやFacebookを使った広報戦略、企業とNPOの連携に関することやシステム管理等の業務に携わっている。

### 子どもたちのために

入職から12年目を迎える現在、尾崎さんがやりがいを感じているのは、これまで関わってきた子どもたちの成長が見られることだという。関わり始めた年齢を問わず、イベントに参加していた小中学生が、高校生となり、次はイベントのボランティアとして、次は大学生や社会人の立場でイベントの実行委員となつてと、成長していく姿を見られる喜びは、長年一つの事業に携わっている尾崎さんだからこそ感じられるやりがいであるといえるだろう。

「とさつ子タウン」は今年4年ぶりの通常開催が予定されており、8月19日(土)、20日(日)の2日間開催される。例年は8月の開催にあたり、年間を通して打ち合わせ・準備が行われ、実行委員会で「子どもたちのために」と奮闘し、思いや計画を具現化してきた。しかし、コロナ禍の3年は通常開催がかなわなかったことから、「まちづくり」という観点で尾崎さんには心残りがあったそう。そのため、今年には実行委員会の中で3年間練り上げて洗練された企画を展開することで、子どもたちの「まちづくり」のより一層の充実を目指し、「改めて」「とさつ子タウン」の魅力伝えるために動くべき時だ」と意気込んでいる。



尾崎さんは、入職以来ずっと子ども分野の事業に関わってきた。そして、「これからも何らかの形で、子どもたちのために活動していきたい」と語る。そして、今後は子どもたちにイベントなどの取組へ安定的に参加してもらえよう機会を積極的に提供していきたいという。小中学生だけでなく、高校生や大学生にもNPO活動の新たな魅力に触れてもらったり興味を持ってもらうことができれば、NPOや市民活動の担い手育成にもつながるはずだ。

### NPOの魅力伝える手助けを

最後に、尾崎さんは「多くの若者世代が『とさつ子タウン』のみならず、様々な場所で市民活動に参加し関わることで、将来の就職の選択肢としてNPO業界を視野に入れてくれることを願っている」と語った。そのために、中間支援組織の立場でNPOがより活動しやすき環境づくりを行うことで、NPOが自身の活動をこれまで以上に情報発信でき、若者世代に魅力をさらに伝えられる未来を期待しているのだという。また、尾崎さん自身もNPO職員一人として、イベントなどで関わる子どもたちにNPO職員のやりがい、これからも伝えていきたいと話していた。

(※1)子どもたちの自由なアイデアで、「自分たちの住んでいるまちをもっと良くしたい」という想いを応援する制度。

プラット  
こうちこ  
VOL.7

## 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和5年度

# ボランティア活動保険

商品パンフレットは  
こちらから  
(ふくしの保険ホームページ)



### 保険金額・年間保険料(1名あたり)

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

保険金の種類	プラン		
	基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	
	手術	入院中の手術	65,000円
	保険金	外来の手術	32,500円
	通院保険金日額	4,000円	
賠償の補償	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外(※)	初日から補償
	地震・噴火・津波による死傷	×	○
賠償責任保険金(対人・対物共通)	5億円(限度額)		
年間保険料	350円	500円	550円

\*3月末までに契約手続きが完了し、前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

### ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

### 送迎サービス補償

(傷害保険)

### 福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 ▶ 社会福祉法人 全国社会福祉協議会  
(引受幹事) 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL: 03(3349)5137  
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)  
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 ▶ 株式会社 福祉保険サービス  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03(3581)4667  
受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)





# 地域と協働ですすめる 福祉のまちづくり

## 土佐町社会福祉協議会

四国のほぼ中央に位置する人口約3,600人の町。  
土佐あかうしの産地であり、早明浦ダムでの自然体験型観光や  
持続可能なまちづくりに取り組んでいます。  
そんな土佐町で、  
地域活動を支える社会福祉協議会の取組をご紹介します。

### 旧小学校区単位での地域活動

土佐町では、住民が住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、旧小学校区ごとに地域の話し合いの場を持ち、生活課題の見える化と解決のための支援体制づくりを行っています。

きっかけは、平成22年に策定された第4次地域福祉活動計画(※)でした。この前年には土佐町内で小学校の統廃合が行われたのですが、長年にわたり学校を中心として培われてきた地域コミュニティが崩壊してしまうのではないかと危機感が地域にはありました。また、ある地区では農協の生活店舗の閉店が決まり、日常の買い物への不安も浮上っていました。

そこで、「地域の声を聞くべき」との考えから、地域住民と行政・社協が参画してワークショップを重ねました。ここから、地域での話し合いの機会や行政との連携体制など、現在の取組方針に繋がっています。

### アイデアを話し合う懇談会

現在では、毎年10地区(旧小学校区)それぞれで懇談会を実施。地区長や民生委員等の地域住民が参加し、年間の活動目標に対する振り返りと次年度計画を話し合います。

懇談会では、福祉分野だけでなく、生活全般に関する様々な声が出てきます。地域の「やりたいこと」の実現に向けて、必要となる役割分担や社会的資源を整理することが、土佐町社協の大事な役割です。地元での機運醸成も必要であり、話し合いの結果は必ず地元フィードバックします。

### 行政との連携体制づくり

社協では、職員が担当地域を受け持ち、各地域と密接に関わっています。役場の地域担当による会議には社協職員も参加し、行政との情報共有を図ります。

また、事業効果や課題を見える化するために「地域アセスメントシート」を毎年作成。各地区の人口動態や社会的資源、活動内容、社協職員の関わり方をまとめたデータ集で、役場や関係者にも配布しています。

### 企画実現に向けて

「相川農協が閉店してシャッターが閉まったまま寂しいので何か絵でも書いて再び活気があるように見せたい!」懇談会でのアイデアを実現したのが、相川地区でのシャッターペイント。デザインは「相川らしい」ものを公募し、役場や教育委員会の

※地域福祉の推進を目的として、地域住民や民間団体などが相互協力して策定する民間活動の行動計画。



(上) 懇談会の様子

(左) 相川地区でのシャッターペイント (右) 森地区での環境美化活動



協力を得て、高校中・高等学校美術部とのコラボも実現。当日は、地域の子どもや保護者、ボランティアなど多くの参加者で賑わいました。

また、森地区の地元有志による「自分達の住む地域をきれいにしたい」との想いから始まったのが、森地域集落活動センターの活動。拠点となる施設の建設をはじめ、環境美化活動を進めるにあたり社協は話し合いに毎回参加し伴走支援をしてきました。今年度からはワイン製造用のぶどう畑の整備にも挑戦。自分達のやりたい活動に必要な最小限の軍資金を稼取り組みも始まっています。

### 協働ですすめる福祉のまちづくり

「地域課題の解決に向けた取り組みはもちろん、やりたいことの実現に向けて、仕掛けていくことも社協の役割。」と社協担当の上田大さん。

早い段階から地域での話し合いの場を設け、企画から実行までの支援体制をつくる。そうした経験による住民自身の気づきやノウハウが、地域活動の受け皿となる組織づくりに繋がってきました。

土佐町社協では、第7次地域福祉活動計画に向けた改定作業に取り組もうとしています。上田さんは、「地域の想いに寄り添いながら、より多くの方が関わられるよう進めていきたい」と話してくれました。

## 社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

高知市朝倉倉375-1 県立ふくし交流プラザ内  
TEL.088-844-9007 / FAX.088-844-3852  
E-mail plaza@pippikochi.or.jp



<https://www.kochiken-shakyo.or.jp/>

### ふくし交流プラザへの交通のご案内

[お車でお越しの方] 高知駅より車で約20分、高知ICより車で約30分、伊野ICより車で約15分、高知龍馬空港より車で約50分。  
駐車場：普通乗用車で約180台駐車できます  
[公共交通機関でお越しの方] 最寄りバス停「朝倉第二小学校前」下車すぐ

## QUOカードがあたる! 読者アンケートに ご協力ください!

「プラットふくし」をより良い紙面としていくために、みなさまからのご意見をお待ちしております。ご回答いただいた内容は、今後の企画等の参考とさせていただきますので、右記QRコードより10月31日までにご回答ください。ご協力いただいた方の中から抽選で3名の方にクオカード500円分をプレゼントいたします。当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

アンケートは  
こちらから!

